

平成18年 5月 1日

能代山本だより

第20号

ゴールデンウィークに入り、ようやく能代山本の桜も見頃を迎えました。能代市内の日当たりのよいところや八森の山村広場は満開になっていますが、きみまち阪や米代川の河畔などではようやく花が開き始めたところです。

能代から見える白神の峰はまだ白くて、山に入れるのは、いつもより遅れることが確かです。アザミやボンナ、シドケなどの山菜の出も遅れています。

能代PR大使を担当している商工港湾課観光振興室の事務室が今までの事務室の2階になり、20段ある階段を毎日何度か、上り下りしています。健康づくり(ダイエット?)には、まだつながっていないようですが、気持ちを切り替えることには幾分役立っています。

イベント

能代港花火大会 / 祝合併をキーワードに 7 / 2 1 6-4-1

能代商工会議所が主催の「2006 能代港まつり花火大会実行委員会」は、開催日を7月22日(土)、会場を能代港下浜ふ頭5千トン岸壁とすることを決めました。

けやき公演市民音楽祭 / 5月28日に 6-4-2

さわやかな新緑の中で心地よい音楽を。第4回けやき公園市民音楽祭は、5月28日午前11時から能代市上町の同公園で開かれます。フリーマーケットなどがあります。

能代の食・農・魚の話題

能代が「どぶろく特区」に 6-4-3

能代市が国に申請していた「能代里山どぶろく特区」が認定されることが3月28日、決まりました。農家が自ら生産したコメで濁酒(どぶろく)を製造し、営業する農家レストラン・民宿などで提供できるよう、酒税法の特例措置適用を求めるもので、早ければ今冬から同市内の農家レストラン・民宿でどぶろくが楽しめることになりました。認定は3月31日付で、4月18日には認定書授与式が行われました。

ハタハタ解禁後初の減少 6-4-4

県内4漁協や県などで構成するハタハタ資源対策協議会は3月28日、秋田市で開かれ、17年漁期の漁獲状況、資源調査結果が示されました。沖合の不振が響き、7年の禁漁解除以降、右肩上がり続けてきた漁獲量は初めて前年を下回りました。今年実施した調査では16年級の割合が少なく、18年漁期に不安を与える結果も明かされました。

また、県水産振興センターは18日、八峰町の県漁協北部総括支所・八森漁港で、人口ふ化したハタハタの稚魚約20万匹を放流しました。資源確保と生態調査を目的に、昭和59年から実施しており、今年度は同漁港を含め、県内5漁港で約200万匹を放流する予定です。

新たに貸し農園事業【やまもと百姓大学】

6-4-5

旧山本町の農家ら有志でつくる三種町やまもと百姓大学は、今年度新たに「やさい村」と銘打った貸し農園事業に取り組む計画を決めました。農作業だけでなく会員の交流会や収穫体験なども企画していて、将来的には都市圏などからの修学旅行生受け入れにもつなげたい意向です。貸し農園事業は金岡地区にある休耕田を10区画（1区画50平方メートル）で希望者に農業体験をしてもらう趣向です。

山菜シーズン/店頭「春の味覚」並ぶ

6-4-6

4月に入り、能代山本の青果店やスーパーの店頭で、アザミやシドケ、ボンナなど「春の味覚」が並び始めました。今冬の豪雪の影響で天然物の流通は例年よりやや遅れ気味ですが、シーズンが本格化するにつれて出回り量が豊富になり、各家庭の食卓を春の香で彩りそうです。

県北産「あきたこまち」2年連続の特Aに

6-4-7

日本穀物検定協会が公表した2005年産米食味ランキングで、秋田県の県北産「あきたこまち」が最高の「特A」に2年連続でランクされました。全国で17品種が特Aを獲得。「あきたこまち」で特Aに格付けされたのは全国では県北産だけでした。

【「あきたこまち」に関する問い合わせを受け付けます】

産直施設「ぶりこ」オープン/八峰町

6-4-8

八峰町の直売施設「ぶりこ」が八森いさりび温泉「ハタハタ館」の入口横に27日オープンしました。八森の水産物、農産物を取りそろえ、漁業の町の直売所らしさを前面に押し出した施設としてアピールする方針です。

白神関係

白神の“目覚め”を体験/自然観察会・藤里町

6-4-9

「スノーハイキング・早春のブナ林を歩く」と銘打った自然観察会が3月26日、藤里町横倉周辺で行われました。時折雨が降るあいにくの天気だったが、参加者は雪深いブナ林を散策し、芽生え始めた木々の芽や、土から顔を出したフキノトウなど、冬から春に移り変わる白神山地の自然に触れました。

自然観察会は、環境省東北地方環境事務所が白神山地の自然に触れてもらおうと開催。岳岱や十二湖散策などを行っており、平成17年度はこの日のスノーハイキングが活動の締めくくりとなりました。

白神山地自然観察会/ぶなっこランド 5月28日

6-4-10

八峰町ぶなっこランドの白神山地自然観察会が5月28日に二ツ森周辺で行われます。参加費は大人2,000円、子ども1,500円。定員30人。昼食、雨具は各自持参ですが、主催者側で昼食に豚汁をご用意します。申込は5月22日まで

【問い合わせ：八峰町産業振興課商工観光係 0185-77-2111】

山腹に春を告げる「馬」/ 駒ヶ岳

6-4-11

世界自然遺産・白神山地のシンボル、藤里町の駒ヶ岳（藤駒岳 = 1157.9 メートル）に、山の由来となった駒（馬）の形が現れだし、本格的な春の訪れを告げています。駒形はその昔、田苗代湿原（藤駒湿原）から田代町の田代岳（1177.8 メートル）に移った「田の神様」が、里人に田起こしの時期を教えるため山に馬の形となって現れる、との言い伝えがあります。

子ども・教育・学校

山里の暮らし学ぶ / 白神ぶなっこ教室

6-4-12

藤里町藤琴の旧坊中小校舎を活用した宿泊自然体験教室・白神ぶなっこ教室の「雪の学校」は 3 月 25 日、町内外の小学生らが参加し、2 泊 3 日の日程で始まりました。初日は雪の灯ろう作りなどで「山里の冬」に触れたほか、講話を通じて白神山地のふもとの暮らしを興味深く学びました。

木の香りがいっぱい・新校舎が完成 / 浅内小学校

6-4-13

能代市が 16、17 年度の 2 カ年事業で建設した浅内小学校の校舎と体育館が完成しました。児童たちはゴールデンウィーク後から新しい学舎での学習を始めます。新しい校舎棟は木造 2 階建て 3701 平方メートル（地域連携施設など含む）、体育館棟は木造一部鉄筋コンクリート造平屋建て 1371 平方メートル（クラブハウス、渡り廊下含む）。教室棟、管理棟、体育館の 3 棟からなるシンプルな構造で、常盤小中と同様にピロティ（融合空間）を挟んで地域連携施設を併設しています。

浅内小の児童たちは 4 月 10 日、完成したばかりの新校舎を見学し、5 月 8 日から始まる木の香りあふれる新校舎での学校生活を楽しみにしていました。

家で眠っているコイノボリ大遊泳に参加させて / 能代・山谷地区

6-4-14

能代市の山谷子ども会は 4 月 15 日に山谷地区で常盤川を横断させて 55 匹のコイノボリを上げます。昭和 62 年から毎年恒例になっています。修繕を繰り返し上げているものの中には、痛みが激しくなってきたものもあり、家で眠っているコイノボリがあれば提供を呼びかけています。コイノボリは 5 月上旬まで泳がせています。

【提供希望者は 山谷子ども会 澤田さん 0185-59-2069 まで】

春風を吸い大空に隊列 / 能代市常盤・山谷地区

6-4-15

能代市山谷地区に、今年もこいのぼりの大遊泳が登場しました。上記掲載のとおり、呼びかけたところ、新たに市内の 12 人から寄贈を受け、掲揚された数は例年より多い 75 匹。春風を吸って悠々と泳ぐ姿が、地域住民はじめアマチュアカメラマンらを楽しませていました。こいのぼりの掲揚は、山谷子供会（大倉直樹会長）と山谷自治会（大倉吉郎会長）が、不用になったコイノボリの提供を広く呼び掛け、子どもの健やかな成長や地域活性化を目的に昭和 62 年から行っており、20 年目となりました。コイノボリは 5 月上旬まで泳がせています。

木・木材

県銘木センター特市、製品競りはまだら模様

6-4-16

県銘木センター（袴田誠治理事長）の「期末謝恩市」（第332回原木市併設）は3月25日、能代市河戸川の同センターで開かれました。製品数がかなり絞り込まれる中での特市となり、一部製品の健闘が垣間見られましたが、増勢には至らず、「春本番までもう一息」の業況となりました。

秋田杉製の机・いす「杉デスクくん21」を導入 / 能代商高

6-4-17

能代市の能代商高に3月27日、秋田杉を使った木製机・いす「杉デスクくん21」の改良版600セットが納入されました。さっそく教室内外に杉の木の香りが漂っていました。同校教育振興会が製造元の丸新製作所（能代市長崎）から購入、全クラスで使用します。「木目と香りですリラックスし、勉強がはかどりそう」と生徒の評判も上々でした。

「杉デスクくん」は県内外の小・中・高校に納められており、注目されはじめています。学校だけでなく、個人が家庭で使用されている例もあります。丸新製作所では、学習机も製作販売しています。

【「杉デスクくん21」問い合わせ先】

【丸新製作所 TEL 0185-54-5670 ファックス 0120-545670】

能代カップ高校選抜バスケットボール大会

「能代カップ」の招待チーム

6-4-18

能代工高と強豪チームが相まみえる第19回能代カップ高校選抜バスケットボール大会（5月3～5日、能代市総合体育館）の男子招待5チームが決まりました。全米ランキング1位のモントロス・クリスチャン高の海外組に、兵庫選抜、善通寺一（香川）、桜宮（大阪）、柏（千葉）の国内指折りの実力校が来能します。海外参加は2年連続で、国内勢は柏を除く3チームが初参戦です。3日間にわたるリーグ戦で高水準な試合を繰り広げるでしょう。

兵庫選抜 能代工の一戦で幕開けし、5日の最終戦は米国モントロス・クリスチャン高と地元・能代工との注目カードです。6チームで3日間、総当たりの15試合を行います。

スポーツ

自転車、山崎が4位 / 全国高校選抜

6-4-19

全国高校選抜自転車競技大会の3日目の3月26日、静岡県伊豆市の日本競輪学校でトラック競技を行い、山崎功也（能代西2年）が男子スプリントで4位に食い込み、個人種目としては自身初の全国入賞を果たしました。

文化

手作りで「つるがた歳時記」発行 / 鶴形

6-4-20

能代市の鶴形地域まちづくり協議会は、地域の年中行事や信仰、風習などをまとめた「つるがた歳時記」を発行しました。住民自らが長老らに聞き取りして編集した手作り本で、鍾馗（しょうき）様など特色ある行事や、今ではすたれてしまった習わしなどを記録に残したほか、お盆の「おりく膳」の整え方、お札を張る場所なども記し、昔からの風習を日常の暮らしに息づかせる実用書にもなっています。

きもの装いコンテスト（全国大会）で女王 / 宮腰さん

6-4-21

2006年日本の心と美の祭典「全日本きもの装いコンテストきものフェスティバル世界大会」が東京都のNHKホールで開かれ、能代市出身の大学生、宮腰遥さん（21）が女性の部最高賞の「きもの装いの女王」に輝きました。今後は着物の振興のために国内外で活躍する予定で、「とにかくびっくり。すてきな着物を多くの人に伝えたい」と喜んでいました。

全国舞踊コンクールで珍田さん2位に

若い舞踊家の登竜門として知られている第63回全国舞踊コンクールで、三種町の珍田優奈さん（山本中1年）が現代舞踊第二部で2位入賞を果たしました。能代山本からは初の上位（1～3位）入賞で、珍田さんは「気持ち良く踊れた。とてもうれしい」と喜んでいきます。

佐々木さんが会員に推挙 / モダンアート展

6-4-22

第56回モダンアート展がこのほど東京都美術館で開かれ、美術家で能代市朴瀬小校長の佐々木久隆さんの作品が絵画部門で入選し、会員推挙を果たしました。同展は、絵画、彫刻、版画、写真、デザイン、スペースアートの6部門で構成され、絵画部門は会員・会友数が最も多く、受賞は難関とされています。佐々木さんは今回で23回目の入選を果たし、同部門の会友から会員に推挙されました。

交通

今年度開通へ急ピッチ / 琴丘能代道路

6-4-23

琴丘能代道路の建設工事が本格化し、今年度開通を目指す能代南IC（インターチェンジ）能代東IC間（6.7キロ）は、下層路盤工などが急ピッチで行われています。舗装は夏までの完了を目指しています。

国土交通省能代河川国道事務所は3月31日に18年度事業概要として、当初予算総額は231億1720万円で前年度比48%増、うち道路関係では3路線の18年度内供用を見込み、能代山本では琴丘能代道路能代南インターチェンジ（IC）能代東同間（6・7キロ）の暫定開通を予定、河川関係では米代川の二ツ井地区河川改修事業（河道掘削）の継続促進を図り地域づくりを支援すると発表しました。

あきた北空港の送迎デッキ無料

6-4-24

あきた北（大館能代）空港の送迎デッキの入場料が4月1日から無料となりました。昨年11月から通年就航した大阪便のダイヤが4月から早まり、小中学校などの総合学習の時間に対応できるようになるため、この機会に無料化を決定しました。

天候関係

能代山本に1億円追加 / 除雪費国補助

6-4-25

記録的な大雪に対応し多額の除雪費のねん出を迫られた地方自治体への財政支援として国土交通省はこのほど、道府県管理道路、市町村道の除雪費へ総額約176億円(自治体負担を含めた事業費ベース・約299億円)の補助を追加配分することを決めました。本県には、県と26市町村分を合わせて19億7300万円(同・35億円)が配分され、能代山本では八峰町誕生前の5市町村合計で1億700万円(同・2億1400万円)の配分額となっています。

春の雪、街並み白く / 能代山本

6-4-26

能代山本地方は3月30日、未明から風を伴って雪が降り、街並みが白く染ままりました。能代市二ツ井町では積雪6センチを記録。歩行者は重いコートを再び羽織り、冬に戻った街をつらそうに歩いたほか、久しぶりに除雪に取り組む姿もみられました。能代消防署の観測では、能代市の最高気温は3.1度(午後4時20分)で平年を7.1度も下回ったほか、最低は氷点下0.3度(午前2時50分)と1.9度低く、2月中旬並みの気温。積雪量(午前9時現在)は市二ツ井町6センチ、藤里町3センチ、八峰町2センチ。

自然

小友沼構想、新市の宿題に

6-4-27

旧能代市がラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)登録を目指す方向性を示し、今年度での策定を予定していた「小友沼および周辺環境保全整備構想」は、新市への宿題として持ち越しになりました。本来のかがい機能を第一に、国際的に重要な湿地として保全を図るとともに、自然との共生を目指す将来像を描いていましたが、条約登録を目指す方向性で行政と関係団体で合意形成に至らず、市は「必ずしも条約登録を目指すとは掲げなくとも、環境保全整備への取り組みを示す構想にしていきたい」とし、「大看板」を下ろすことも含め素案を検討、再度提示していく方針。

「クマ出没注意報」 / 県が発令

6-4-28

今年はブナの実の凶作に当たりツキノワグマの出没の多発が予想されることから県は3月30日、「注意報」を発令しました。本県では初めての措置。被害の未然防止のため県民に注意を喚起しています。クマの人里などへの出没は、山の木の実、特にブナの実の豊凶との関係が深いことが過去の経験で明らかになっています。ブナは豊作となった翌年に凶作となることが知られ、近年では豊作だった12年の翌13年がやはり凶作で、この年はクマの出没が県内で急増。13年はクマによる人身被害が15件、農林業被害額は4億7356万円に上り、有害捕獲数は353頭と過去最高を記録しました。

温暖化防止部門で1位 / 旧二ツ井町

6-4-29

旧二ツ井町は、第5回日本の環境首都コンテストで、人口規模別第1群(2万人未満)で2位、同群地球温暖化防止部門では2年連続1位に輝きました。総合順位は全国75自治体中17位と前年(31位)からジャンプアップし、交通政策や情報公開、産業推進など、「環境のまち」に取り組み続けている成果が評価されました。また、10年後の環境首都を目指すことを明記した新市建設計画策定が先進事例特別表彰を受けました。

ミズバショウ / 八峰町本館

6-4-30

能代山本では、“湿原の女王”とされるミズバショウが咲き始め、清楚(せいそ)な姿が見る人を楽しませてしています。能代山本では、藤里町や八峰町など各地にミズバショウの群生地が点在します。八峰町八森本館地区では、同地区から林道を通して本館城址跡に向かうと、両わきに多くのミズバショウが“お出迎え”します。

ザゼンソウが“満開” / 石倉山公園

6-4-31

三種町の石倉山公園でザゼンソウが開花し、ひっそりと春を告げる姿が散策する人たちの目を引き付けています。同公園では、これからミズバショウやカタクリ、桜といった花々が次々と見ごろを迎えることから、地元観光協会では来月中旬までを春の花まつり期間に設定し、多くの入園を呼び掛けています。

合併・商工会議所関連

「平成の大合併」で県内 13 市 9 町 3 村に

6-4-32

「平成の大合併」では県内最後となる八峰町が 27 日誕生し、県内はこれで 13 市 9 町 3 村の 25 市町村体制に再編されました。能代山本も、能代市、三種町、八峰町の発足に伴い、8 市町村から 4 市町へと半減、新時代を迎えました。

能代商工会議所 3 副会頭を正式に選出

6-4-33

能代商工会議所は 28 日、能代市柳町のプラザ都で通常議員総会を開きました。山木雄三会頭(68)体制を担う新副会頭に腰山一夫・コシヤマ社長(65)、佐藤浩嗣・佐藤写真館代表(64)、広幡信悦・中田建設社長(57)の 3 氏を正式に選出したほか、18 年度の事業計画、一般特別会計予算案をいずれも原案通り承認しました。

その他

増水の状況、一目で / 能代大橋

6-4-34

国土交通省能代河川国道事務所は、住民にも米代川の増水状況がひと目でわかるようにと、県の協力で、能代市の国道 101 号能代大橋の橋脚に、警戒水位を黄色、危険水位を赤色で示すラインを塗装しました。今後、二ツ井地区の銀杏橋の橋脚でも実施する予定。

野呂邸 取得・回収を / 桧山地区

6-4-35

能代市桧山地区の住民と行政の協働によるまちづくりで、懸案となっていた古民家「野呂邸」の取り扱いを含めたまちづくりの進め方について、旧能代市は新市に引き継ぐ行政側の考え方を取りまとめました。野呂邸をビジターセンターや地域コミュニティ機能を集約した歴史の里の拠点施設と位置付け、市が事業主体となって取得・改修する方針を打ち出す一方、住民要望があった歴史・文化資料などの収蔵庫の建設は「進めるべきでない」としています。これを「たたき台」に新市長の判断を仰いだ上で、住民側との協働作業に入る考えです。

八峰町で漁り火の館を拠点にブルーーツーリズムへの取り組み開始 6-4-36

八峰町では、旧岩館児童館を全面改修して「漁り火の館」を整備しました。

宿泊用は3部屋(10畳、10畳、8畳)で、宿泊定員14人、宿泊料は大人2,500円、子供1,500円、宿泊者は基本的に自炊です。

漁船に乗り込んでの釣りや網外し体験など、海洋資源で余暇を楽しめます。

下水道工事がまだなので、オープンはもう少し先になりそうです。

【問い合わせ：金田酒店 須藤さん 0185-78-2417】

修学旅行誘致を重点にノ能代山本地区観光連盟 6-4-37

能代山本地区観光連盟(山木雄三会長)は今年度、修学旅行等誘致促進を重点事業に位置付けました。首都圏の旅行代理店などへのPR活動、管内の体験メニューや宿泊施設といった受け入れ情報の収集を進め、行政側の窓口となっている能代山本広域市町村圏組合と連携を持ちながら、民間サイドの窓口をつくっていく方針です。

外港北防、潜堤築造仕上げへノ能代港 6-4-38

国土交通省秋田港湾事務所能代事務所の今年度事業がまとまり、能代港第2北防波堤建設に伴い19年度沈設を目指してケーソン1函(幅22.7メートル、長さ23.2メートル、高さ16メートル)を製作するほか、外港北防波堤の外航船航路の安全対策として潜堤築造工事を継続します。年内には計画する延長800メートルが完成する予定で、19年度に見込むしゅんせつ工事で潜堤事業の完了を目指します。

斉藤能代市政が船出 6-4-39

能代市の斉藤滋宣市長は24日、初登庁しました。斉藤市政の船出に当たって新市長は新市の調和や均衡ある発展の大切さを改めて述べるとともに、「進むべき方向性を示し、あとは任せる。私がしっかりと責任を負う。思う存分、能力発揮を」などと市職員としての自覚を促し、積極的な政策提言や挑戦する姿勢を求めました。また、記者会見で3役人事について、行政経験を重視した人選を進め5月下旬が見込まれる臨時議会に提案する考えを示しました。

また、合併成就に至るまでの豊沢旧市長、丸岡旧町長、職員の労苦に対して謝意を述べながら、「新市建設計画に沿い、きっちりとまちづくりを進めていきたい。対等合併といっても、今までの合併は小さなまちが大きなまちに吸収されるのが例だった。新市誕生に当たり、旧市町が協調・調和し、均衡ある発展を遂げなければならないと考えている」と強調しました。午後からは、二ツ井庁舎にも足を運び、「斉藤市政」をスタートさせました。

地域要望を事業に反映ノ三種・佐藤町長 6-4-40

三種町の佐藤亮一町長が25日、三種町役場に初登庁し、100人の職員を前に「これまで一緒に仕事をした人、初めての人もいるが、同じ目的に向かい職員間のチームワークをもって三種町民の奉仕者に努めてほしい」と合併後の融和を最初に呼び掛けました。

町民の期待に力合わせノ八峰・加藤町長 6-4-41

八峰町長の加藤和夫町長が25日、八森庁舎に初登庁し、「住民のためになる役場をつくるよう、頑張ってもらいたい」と述べました。

お知らせ

ブログ 『能代でらっと情報』

能代の最新的话题を毎日、**ブログ**で発信しています。

お近くのパソコンでぜひご覧ください。

《 1 》 検索サイトから

[Google](#) (グーグル) [Infoseek](#) (インフォシーク) [goo](#) (グー)

[Excite](#) (エキサイト) [Yahoo](#) (ヤフー)

検索 『能代でらっと情報』 と入れて、検索してください。

《 2 》 能代でらっと情報のURL

http://blog.livedoor.jp/noshiro_kanko/

《 3 》能代市のホームページ 能代の観光からもブログに入れます。

検索サイト	能代市	観光情報
能代地域	能代市観光	能代でらっと情報

能代市観光振興室

電話番号 0185 - 89 - 2179

FAX 0185 - 89 - 1776

Eメール syokou@city.noshiro.akita.jp
kouki-ebisuya@city.noshiro.akita.jp